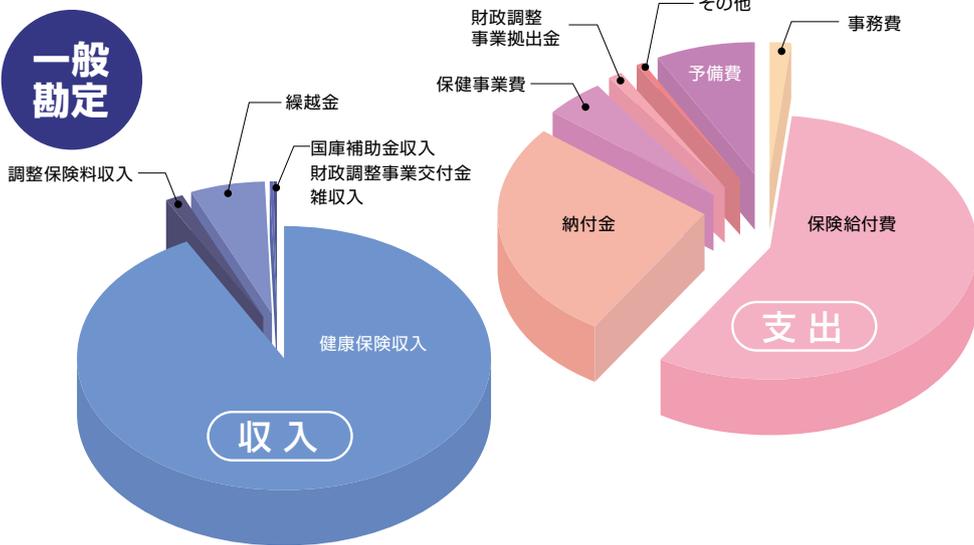


# 平成27年度 予算 が決まりました!

平成 27 年 2 月 9 日開催の第 81 回ワールド健康保険組合組合会において、平成 27 年度収入支出予算が可決されました。

健康保険料率は 9.5%で変更はありません。

介護保険料率は 1.43%から 1.64%に変更となります。



収入	
科目	予算額
健康保険収入	4,567,087
調整保険料収入	63,334
繰越金	300,000
国庫補助金収入	1,005
財政調整事業交付金	10,000
雑収入	3,602
計	4,945,028

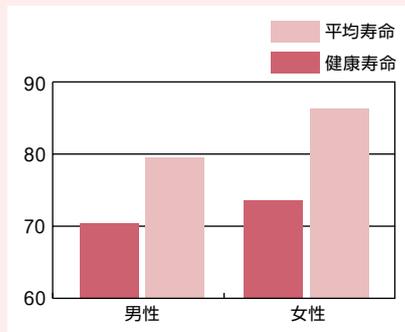
支出	
科目	予算額
事務費	85,772
保険給付費	2,829,892
納付金	1,339,069
保健事業費	226,111
財政調整事業拠出金	63,334
その他	23,903
予備費	376,947
計	4,945,028

## 「データヘルス計画」が始まります。

データヘルス計画は、レセプト（診療報酬明細）や健診情報等のデータを分析・活用することにより、加入者の健康づくりや重症化予防等の保健事業を行うものです。すべての健康保険組合が平成 27 年度から取り組んでいきます。「データヘルス計画」とはどんなものなのか、Q & A 形式にまとめてみましたので、ぜひご覧ください。

### Q1 なぜ「データヘルス計画」なの？

A. 国の医療費は膨張の一途を辿り、2010 年は 37.4 兆円に上り（国民医療費）、厚生労働省の推計によれば、2025 年には 60 兆円を突破する勢いです。この伸び続ける医療費を抑制するためには、「健康寿命の延伸」が必要です。つまり、健康寿命を延ばし、健康寿命と平均寿命の差を縮めていこうというものです。その差は右図のように男性で 9.13 年、女性で 12.68 年となっています。良い生活習慣を身につけ、健康寿命を延ばすことを実現するための計画、それがこの「データヘルス計画」です。

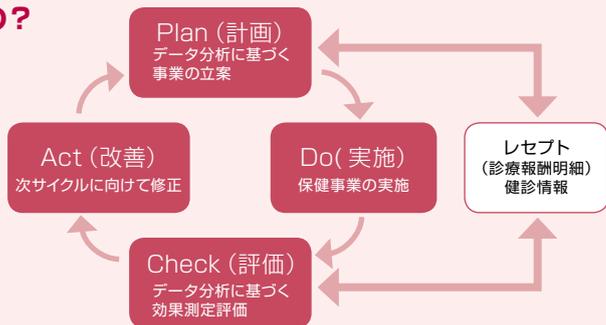


### Q2 「データヘルス計画」はいつから実施するの？

A. 「データヘルス計画」の策定を平成 26 年度中に行い、実施期間（第 1 期）は、平成 27 年度から平成 29 年度までの 3 年間です。

### Q3 「データヘルス計画」の特徴って何なの？

A. 「データヘルス計画」は、レセプト（診療報酬明細）や健診情報等を活用したデータ分析に基づき、PDCA サイクルによる事業運営を行います。やみくもに事業を実施するのではなく、データを活用して科学的にアプローチすることで事業の実行性を高めていきます。また、事業主と連携（コラボヘルス）しながら進めていくことも大きな特徴です。



## 介護 勘定

平成 27 年度の国に納める介護納付金は、平成 26 年度に比べ 12,642 千円 (4.8%) 増加となります。これにより、介護保険料率を 1.43% から 1.64% に変更し、平成 27 年 4 月給与引落とし分より実施します。〈任意継続被保険者の方は、平成 27 年 4 月保険料より〉

(単位:千円)

科目	予算額
介護保険収入	283,084
雑収入	1
計	283,085

(単位:千円)

科目	予算額
介護納付金	275,708
還付金	500
積立金	6,877
計	283,085

## 公 告

平成 27 年度  
平均標準報酬月額  
**240,000 円**  
(前年度と同額)

任意継続被保険者の  
保険料上限額は  
**22,800 円 / 月**  
(介護保険料は別途)

## 健保組合財政 健全化の効果

◎平成 27 年度高齢者納付金が 2.7 億円削減されました。

◎平成 27 年 1 月末現在で昨年同時期と比較して、支出も 1 億円削減されました。

さらに、財政健全化と加入者の皆さんの健康度を高めるために

平成 27 年 4 月より

**「データヘルス計画」による保健事業に取り組みます!**

## Q.4 ワールドグループの取組優先課題は何なの?

A.

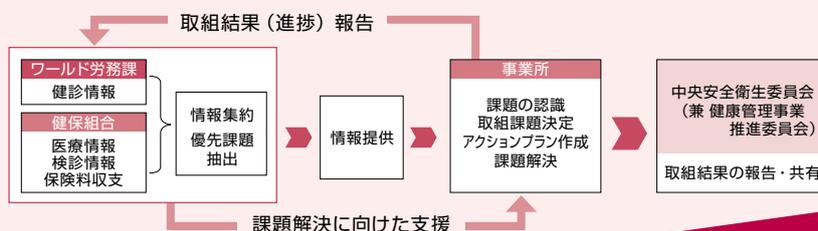
分類	背景
① 婦人科系疾患	被保険者のうち女性が 78% を占めることから、周産期を中心とした医療費の額や増加率がともに高く、今後も増えることが予測されます。
② 精神神経系疾患	メンタル疾患を原因とする傷病手当金の支給金額は減少に転じているものの、支給金額の水準は高く、休職に繋がれば職場全体にも大きな負担がかかります。今後も継続して対象者を減少させていく必要があります。
③ メタボ系疾患	メタボリックシンドロームに関連する患者数が増加しています。重症化するまえに歯止めをかけないと、将来の医療費が大幅に増えることが予測されます。

以上 3 つの主な健康課題について、それぞれに具体的な目標を掲げ、保健事業を実施していきます。詳細は、健康保険組合のホームページをご覧ください。

## Q.5 事業主との連携 (コラボヘルス) って、どうやって行うの?

A.

「データヘルス計画」は、健康保険組合と事業所が連携 (コラボヘルス) して取り組みます。常に進捗を共有でき、綿密な情報交換を行える仕組みを平成 25 年度からスタートしています。



## Q.6 私達は具体的に何をすればいいの?

A.

健康を意識して日頃から良い生活習慣を身につけることが大切です。(例:よく歩く、禁煙する、食生活を見直す、食後の歯磨き等) 定期健康診断やガン健診も、必ず受けてください。また、各事業所や健康保険組合が実施する保健事業に積極的に参加して下さい。

企業を支えているのは、働く人=社員であり、その社員ひとり1人が「健康であること」を願って、保健事業を行います。ワールドグループは事業所と連携した「データヘルス計画」に基づきPDCAサイクルによる効果的な保健事業を実施していきます。この事業により、1人でも多くの加入者皆さんの健康意識が高まり、健康度が上がっていくことを願っています。「健康であること」、それはご本人やご家族にとって、そして企業にとっても大きな財産なのです。